

## 【テーマ5】 福祉基盤の整備

### めざす方向

- ◆高齢化率の上昇と生産年齢人口の減少に伴い、年々深刻な課題となっている介護・福祉人材の確保を着実に図っていくため、平成 29 年 11 月に策定した「大阪府介護・福祉人材確保戦略」に基づき、質の高い介護・福祉人材の安定的な確保に取り組みます。  
(中長期の目標・指標)
- \*「大阪府介護・福祉人材確保戦略」の着実な実施による人材確保対策の推進  
・2025 年における府内の介護人材の供給推計 173,549 人を上回ること

### 介護・福祉人材育成確保対策の推進

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（H31.3 月末時点）>
<p>■介護・福祉人材確保に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年 11 月に策定した「大阪府介護・福祉人材確保戦略」に基づき、「参入促進」「労働環境・処遇の改善」「資質の向上」の 3 つのアプローチにより取組みを推進。</li> <li>・「大阪府介護留学生適正受入推進協議会」を設立し、関係者間での最新情報の共有や研修を通じて、介護留学生の適正な受入体制の整備を推進</li> <li>・介護従事者の負担軽減につながる福祉機器や介護ロボットの導入の促進をはじめ、労働環境や処遇の改善に向けた事業者の取組みを支援。</li> </ul> <p>(スケジュール)</p> <p>平成 30 年 5 月 介護留学生受入適正化推進協議会 第 1 回開催</p> <p>平成 30 年 7 月～ ガイドライン普及のための研修を実施</p> <p>平成 30 年 9 月頃 第 2 回協議会開催</p>	<p>◇成果指標（アウトカム） (定性的な目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護従事者のすそ野拡大、介護職場における労働環境・処遇の改善、介護職員の資質向上を図り、介護人材を確保・育成。</li> <li>・府内において介護留学生の適正な受入体制の整備を推進</li> <li>・介護ロボットの導入による、介護職場の労働環境・処遇の改善。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域医療介護総合確保基金を活用した事業を実施した。</li> <li>・『介護福祉士になろう！』推進プロジェクト事業 主に若い世代に向け、介護の仕事の魅力を発信する動画を 2 本制作。YouTube にて配信中</li> <li>・初任者研修の受講促進に向け「介護の研修×おしごとチャレンジ事業」10 事業者 53 名分交付決定</li> <li>・介護に関する入門的研修事業 27 コース実施、149 名修了</li> <li>・「職員の資質向上・職場定着支援事業」について市町村への意向調査を実施（5 月）、申請受付（6 月～）、5 市・広域連合に交付決定</li> <li>○介護留学生の適正な受入体制の確保を推進した。</li> <li>・介護留学生適正受入推進協議会の設置、第 1 回協議会の開催（5 月）</li> <li>・外国人留学生の介護職員受入状況についてアンケート調査を実施（8 月）第 2 回協議会の開催（10 月）</li> <li>・在留資格「介護」による外国人留学生受入れ等外国人人材の活用に関する研修を計 4 回開催（11 月～2 月）347 名受講</li> <li>○「介護ロボット導入活用支援事業」補助金の公募を実施した。（47 施設 82 台 9,917 千円交付決定） 介護従事者の腰痛や夜間の見回り負担等の軽減、</li> </ul>

介助時の転倒防止等の安全性向上。  
 ○「おおさか介護かがやき表彰」を募集（6～7月）、応募65事業所から13事業所を選定（10月）、表彰式を実施（11月）、事例集・パネルにて各種イベントで取組周知・啓発（11～3月）

**行政の福祉化[\*32]と災害時広域支援の拡充**

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（H31.3月末時点）>
<p><b>■行政の福祉化の促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度とりまとめた「大阪府における行政の福祉化の推進のための提言」に基づき、取組みを推進。</li> </ul> <p><b>■災害時広域支援の拡充</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害福祉広域支援ネットワーク参画団体との連携を強化し、災害派遣福祉チーム（DWAT）の派遣体制構築に向けて取り組む。</li> </ul>	<p>◇成果指標（アウトカム）                      （定性的な目標）                      ・「大阪府における行政の福祉化の推進のための提言」に示された取組みの実現</p> <p>◇成果指標（アウトカム）                      （定性的な目標）                      ・災害派遣福祉チームの設置要綱の作成</p>	<p>○提言について、5月14日開催の社会福祉審議会で報告するとともに、行政の福祉化の取組み理念を広めるため、6月26日にユニバーサル社会推進フォーラムを開催した。</p> <p>○提言を踏まえ、障がい者雇用率の達成に向けた取組み等を定めたハートフル条例について、2月議会にて条例改正（H31.4施行）。</p> <p>【主な改正内容】</p> <p>①ひとり親、生活困窮者などへ対象拡大、②公契約における就職困難者の就労支援の推進を規定、③ひとり親雇用を進める事業主への表彰制度を新設など。</p> <p>○先進的な取組みを進めている京都府に6月にヒアリングを実施するとともに、平成30年7月豪雨における避難所支援の活動調査のため、7月に岡山県を視察した。</p> <p>○大阪府災害福祉広域支援ネットワーク会議を3回開催。協議の上、「大阪府災害派遣福祉チーム設置運営要綱」を作成した。</p>

**ユニバーサルデザインの推進とSDGsを踏まえた取組みの推進**

＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）＞	＜何をどのような状態にするか（目標）＞	＜進捗状況（H31.3月末時点）＞
<p>■ユニバーサルデザインの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画」[*33]を踏まえ、ユニバーサルデザインをさらに推進するために、住宅まちづくり部、府民文化部など関係部局と連携し「ユニバーサルデザイン推進指針」を策定する</li> </ul> <p>(スケジュール) 30年6月：「ユニバーサルデザイン推進指針」の策定</p> <p>■SDGs（持続可能な開発目標）を踏まえた取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉施策の推進にあたりSDGsの観点を反映</li> </ul>	<p>◇成果指標（アウトカム） （定性的な目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが暮らしやすく、訪れやすく、活躍できる地域づくりのためのユニバーサルデザインの推進</li> </ul> <p>◇活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉施策の推進にあたり、関連すると思われるSDGs（「1 貧困をなくそう」、「3 すべての人に健康と福祉を」等）の観点を反映</li> </ul>	<p>○国のユニバーサルデザイン行動計画 2010 を踏まえて各部局の取組を点検・再構成し、庁内会議を経て「ユニバーサルデザイン推進指針」を6月に策定した。</p> <p>○30年度に部で策定した計画等にSDGsの理念を反映した。</p>